

教科目標		衣生活、住生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。				
月	単元・題材名	時数	学習内容	学習のねらい	評価項目	道徳の項目
4	わたしたちの衣生活	20	・ ガイダンス	・ 家庭科を学ぶ目的が理解できる。	自己評価表 提出物 作品 意欲・態度 テスト ワークシート	4-(9) 伝統の継承と 文化の創造
5			・ 衣服のはたらきを考える	・ 衣服のはたらきが理解できる。 ・ 衣服と社会生活との関わりを理解する ・ 目的に応じた着用や個性を生かす着用をくふうできる。 ・ 自分らしい着方を考えることができる。		
6			・ 衣服を選ぼう	・ 衣服計画のたて方や既製服の選び方を考えることができる。 ・ 既製服の表示と選択にあたっての留意事項について理解し、自分で購入できるようになる。		
7			・ 製作計画をたてる 衣服の計画と再利用について考える	・ 能率的な作業手順を工夫できる。 ・ 製作技術を身につけることができる		
9			・ 布を用いた物の製作をする	・ ミシンを使って縫うことができる。		
10			・ 衣服の手入れと補修をする	・ 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。 ・ 洗濯の方法と特徴について理解する	4-(4) 役割の責任と 自覚	
			・ 生活を豊かにする布を用いた物製作をする。	・ ボタンつけ、アイロンがけなどの基本的な技術が習得できる。		1-(3) 自主自立
11	わたしたちの生活と住まい	9	・ 住まいのはたらきを考える	・ 住まいのはたらきを考えることができる。	自己評価表 学習ノート 意欲・態度 テスト レポート 作品	4-(6) 家族愛
12			・ 家族と住まいのかかわりを考える	・ 家族の生活と住まいのかかわりについて考えることができる。		
1			・ 快適な室内環境にするための工夫をする ・ 住まい設計を考える。	・ 健康かつ安全な室内環境の条件を理解し、よりよい住まいと住みかたの工夫ができる。 ・ 資源・環境と住生活の関係を理解し、再利用等考えることができる。		
2	わたしたちの食生活	6	・ 食事のとり方を考える	・ 食事の役割が理解できる。	学習ノート 意欲・態度	3-(1) 生命の尊重
3			・ 栄養素のはたらきを知る ・ 食品に含まれる栄養素を知る	・ 栄養素の種類とはたらきを知る。 ・ 中学生に必要な栄養の特徴について理解できる		

合計授業時数 35時間

学習のアドバイス

- 家庭科では、主に意欲を重視していきます。毎時間集中して授業に臨みましょう。
- 授業は週1時間です。忘れ物のないように学習準備を確実にしましょう。
- 授業の内容を理解し、習ったことを創意工夫しながら家庭でも実践してみましょう。